

あだち 教育 だより

発行日 平成 29 年 4 月 1 日
発行 足立区教育委員会
編集 教育政策課

NO. 67

「将来の夢や仕事を考えるきっかけにして欲しい」という谷中中学校開かれた学校づくり協議会みつわ会の思いから実現したロボット講習会。

東京電機大学の岩瀬将美准教授とゼミ生が講師として、ロボットの実演を交えたレクチャー。生徒たちからは「ロボットが災害時や障がい者の支援で使われていることを知り、興味が湧いた」「カラーセンサーのプログラミングを教えてもらい勉強になった」の声。

講習会は、みつわ会の早坂副会長が中心となって企画、運営しました。このように、教育現場では地域主導のさまざまな活動が行われています。



きょうそうりよく

協創力 で育てよう あだちの 子どもたち!

時速30kmを出せる
駆動装置をつけた
電動車椅子に乗る
谷中中の生徒

※協創力…行政、区民、企業、大学などの想いや力を重ね合わせ、互いの役割を果たすことで発揮する「地域課題を解決していく力」「新たな魅力を生み出していく力」のこと

地域の思いを反映した学校づくりをめざして！

コミュニティ・スクール ※

(以下 CS という)

第四中学校
開かれた学校づくり協議会会長
学校運営協議会会長
ただ かずお
高田 一雄さん



CSの役割は、学校が抱える課題の解決や新たな学校の魅力づくりに向けて、自分たちができることを考えたり、学校に意見を提案したりしていくことだと思います。

例えば、不登校の要因となり得る、中1ギャップの不安を解消するため、アンケートを作成し、毎年中学1年生全員に回答してもらっています。学校がアンケートを行うと、構えてしまう生徒もいますが、地域が行うことで、より本音の回答が得られていると思います。結果を学校に伝え、解決策を一緒に検討しています。

今後CSの活動で考えていることは2つあります。1つ目が悩みを抱えている家庭へのアプローチです。家庭によっては、先生やスクールカウンセラーより地域の方が相談しやすい場合もあるので、そういった家庭に寄り添い、家庭と学校のつなぎ役になれればと考えています。

2つ目が、CS委員の研修や区内のCSで情報交換を行うことです。他自治体の取り組みを視察したり、区内各CSの活動を情報共有したりすることで、知識を深め、より魅力的な学校を創っていくことに生かしていきたいと思います。

地域のちからが子

生徒たちに学習の場を提供！

開かれた学校づくり協議会 サタデースクール

第十二中学校
開かれた学校づくり協議会会長
のむら まこと
野々村 誠さん



第十二中学校開かれた学校づくり協議会で独自に行っているサタデースクールでは、大学生や社会人などの地域の大人が生徒に勉強を教えています。協議会で、塾に行かないで頑張っている生徒や勉強の仕方が分からない生徒に対し、「地域で何かできないか」と考えたことが、開講のきっかけになりました。

活動は、平成21年(2009年)から始まり、土曜授業のある日や長期休業期間を除いて、ほぼ毎週、年間25回程度行っています。

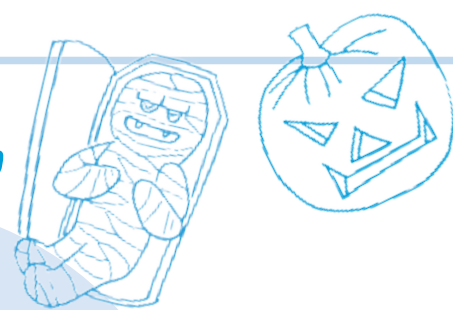
スクールを利用している生徒は、「土曜日に勉強する習慣が身についた」「テストの点数が上がった」などと話してくれて、活動の成果を感じています。



これからの区政のキーワードは「協創」

協創とは、区民一人ひとりが主体となる課題解決や魅力的なまちづくりに取り
区では、協創による取り組みを進める
成長を支える地域社会の実現をめざして

幼いうちから豊かな体験を♪ あだち放課後子ども教室



あだち放課後子ども教室では、児童の自由な遊びや学びを地域の大人がスタッフとして見守り、支えています。



ハロウィンの仮装をして、みんなでダンス♪

子ども塾では、児童にさまざまな体験をしてもらいたいと思い、開設時(2010年)から、百人一首、茶道を取り入れています。その後、サッカー、囲碁、裁縫、パソコン、「英語で遊ぼう」など学びや運動の体験プログラムを増やしていき、それぞれ月1回程度行っています。

プログラムが無い日でも、多い日には100名以上の児童が参加し、見守りに気を遣うことも。しかし、一輪車に乗れなかった子が乗れるようになったり、小学生のときに子ども塾を利用していた子が中学生になって、私たちが手伝ってくれたり子どもたちの成長を肌で感じられるのがやりがいになっています。

興本扇学園子ども塾実行委員長
はま濱出 たつ子さん



子どもの成長をバックアップ



大きい魚が釣れた！



親子で自然とふれ合う♪ しかはま自然観察会 のらえもん

お母さんと一緒に稲が
たくさん取れたよ♪

のらえもんは、自然と接する機会が少なくなっている子どもたちに、本物の自然に親しんでもらいたいとの思いから始めました。元々は、鹿浜西小学校開かれた学校づくり協議会の事業として活動していましたが、より活動を展開させ、地域の子どもたちに参加してもらいたいと考え、協議会から独立しました。

田植え、稲刈り、しめ縄づくり、生き物観察、カイコ・サケの飼育、キャンプ、ハイキング、スキーなどを年20回程度行っています。子どもたちの成長は著しく、3時間かかった稲刈りが1時間でできるようになったり、年1回のスキー体験でも2、3年後にはスイスイ滑れたりしています。

親と子の参加を原則とすることで、体験を共有することができ、親子の会話を増やすきっかけにもなっています。



のらえもん 代表
ふるたか としお
古高 利男さん

！
って互いに認め合い、ゆるやかにつながり支えあいながら、地域
組む仕組みのことで、家庭や地域の皆さんのほか、多様な主体が子どもたちの
いきます。

「英語大好き中学生」 育成プログラム 2017

みなさんは、外国の方に英語で話しかけられたら、どうしますか。知っている英語でなんとか答えようとする人もいれば、突然のことで立ち止まったままの人、「Sorry」と言ってその場から離れてしまう人もいるのではないのでしょうか。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、都内のさまざまな場所で、色々な国の人と出会う機会が増えていきます。

区教育委員会では、中学校で身につけた英語力を活用して、積極的に外国の方とコミュニケーションを取り、世界に目を向けた生徒の育成をめざします。

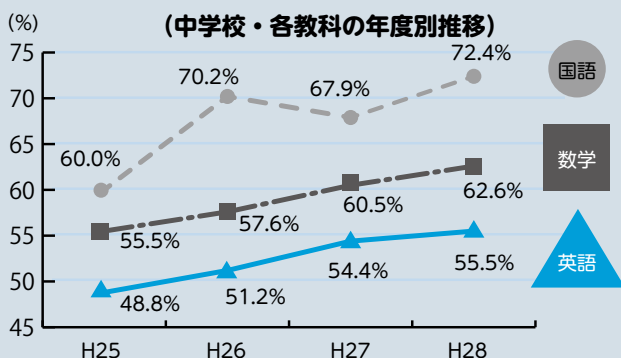
根強い英語への苦手意識

下の図は、区学力調査で正答率が60%以上である生徒の割合を年度別に示しています。

これまでの学力向上に対する取り組みの成果が出てきており、各教科とも上昇傾向にあります。しかし、英語は、国語・数学に比べて正答率の割合が低いことから、英語への苦手意識がほかの教科より高いことや学力の定着に課題があることが分かります。

そこで、苦手意識を克服し、生徒たちが英語を楽しんでいると感じ、学ぶ意欲を引き出すことを目的として新たな事業を推進しています。

足立区学力調査での正答率 60% 以上の生徒の割合



育成
プログラム

英語の苦手意識やつまずきを

1 中学1年生 チャレンジ

正しい発音や基本文型を身につ

区内の全中学校で、民間教育事業者による補習講座。講座は、各校15名程度の少人数指導で行い、全8外国人講師が英語で進めるレッスンを行っています。

単語や文の発音練習・簡単な文型を使った対話練習。基礎力の定着を図ります。



講座を受講した生徒の声

- ◎ be 動詞や一般動詞の使い方が分かり、英語が楽しいと感じるようになった♪
- ◎ 1対1で教えてもらったので、文法を覚えることができ、英語が好きになった。
- ◎ 外国人講師に自分の英語が通じて嬉しかった！
- ◎ 外国人講師の話し方がカッコよかった。自分もあんな風に話せるようになりたい。
- ◎ 外国人講師の発音が聴き取りやすくて、単語が頭に残った。

Do you like English?

育成
プログラム

英語活用の機会を提供、教員の英語力・指導力向上

2 明海大学との連携事業

を早期に克服

英語講座

ける

を昨年の11月からスタート。
回のうち2回、英語を母語とする
習を行うことで、生徒たちの英語



大学との協定でさらなる英語力アップをめざす

区は、外国語学部を有する明海大学(千葉県浦安市)と今年の1月に連携協力に関する協定を締結しました。

今後は、大学に在籍する留学生と子どもたちの英語を使った交流会や大学教員による小・中学校の授業づくり(助言や指導など)に取り組んでいきます。

英語で世界とつながろう!

今年の2月、明海大学の留学生22名を竹の塚中学校に招きました。生徒たちは、アメリカ、インドネシア、スウェーデン、スリランカ、ネパールなど10カ国以上の国と地域から来日した留学生たちに、英語を使って質問をしたり、日本の文化を説明したりしました。

生徒たちは、「英語が使えると、色々な国の人と話せることを知った」「会話が長く続けられなかったので、もっと英語を勉強して、会話がたくさんできるようになりたい」と話し、英語が世界共通のコミュニケーションツールであることを実感するとともに、英語学習へのモチベーションを高めていました。



スウェーデンの食べ物の話に興味津々!



スリランカの留学生にジェスチャーを交えながら、あやとりを教えました。



個別指導も交えて、生徒に「分かった!」を

育成
プログラム
3

今年度からスタート!!

英語マスター講座

文法・語彙力の向上と英語活用力のある「英語大好き」中学生を育成するため、日本人・外国人による講義と「オンライン英会話」を活用して英語・英会話能力を高めます。

聞く・話す・読む・書く

育成
プログラム
4

英語学力4技能調査

※モデル実施
新学習指導要領に対応した英語学力調査を行い、授業改善、個別指導の充実を図るための試行事業。これまでなかったスピーキングテストを取り入れた新形態の学力調査を活用します。

教育委員会からのメッセージ

英語を使ったコミュニケーション体験を重ねることで、苦手意識が無くなっていき、楽しく感じるようになります。

まずは、学校の授業で恥ずかしがらずにチャレンジしてみてください。その姿が未来の自分を変えていきます!

I like English ♥

みんなの学校のよいところを教えて

「ビューティフル・スクール運動」を推進しています!



「児童・生徒が学校のよいところを見つめなおし、自らの学校を愛する心情を高める」ことをねらいに、各校の特色を生かした活動や力を入れて取り組んでいる活動などを、教育委員会がビューティフル・スクール運動として認証しています。

平成28年度は、特に優れている活動として、以下の5校を特別表彰しました。

足立入谷小学校

学校で朝ごはん



「楽しく、バランスのよい朝食をとると、一日を元気に過ごせる」ことを体験するため、「学校で朝ごはん」を始めました。地域の皆さんの全面的な協力により、学級ごとに行っています。子どもたちは、いつもより少し早く登校し、朝ごはんを食べ、歯みがきをして、一日を元気にスタートしています。

伊興小学校

ここ1スター宣言



「元気にあいさつをする」、「給食を残さない」、「本をたくさん読む」など各クラスで「これは負けない!」という取り組みを全校集会でクラスごとに宣言し、実現に向けて励んでいます。目標をもつことで、よりよい学級を作っていこうという意欲が育っています。

谷中中学校

思いやりの虹をかけようキャンペーン



自分や友達の思いやりがある行動を、クラスや部活動の仲間のためなど対象ごとに色分けしたカードに記入して、虹の形に張っていく活動です。目に見える形で発信することで、助けを必要とする人や自分が役立てることに「気づき」、何ができるかを「考え」、「実行」しようとする態度を養っています。

千寿小学校

自学自習ノートの取り組み



子どもたちが、通常の宿題以外に歴史・地理・自然科学・外国語など自分の興味ある課題について毎日ノートにまとめて、担任の先生に提出しています。自分で内容を考えることで、課題設定力や図・グラフなどで表現する力が育っています。

千寿常東小学校

地域と一体、仲よしハッピー運動



地元の商店街や町会、大学などと連携を図って活動しています。商店街のイベント「学園通りフェア」では、地域の方と一緒に「流し踊り」で商店街を練り歩きます。ほかにも、科学体験教室では東京電機大学の教授や学生からものづくりの楽しさを教えてもらったり、東京未来大学の学園祭で、自作のアクセサリを販売して接客方法を学んだりしています。

第8回中学生「東京駅伝」大会 総合4位！



前半の4区で激しく競り合う第十二中学校の霜鳥瑛友選手
(写真右から2人目)

2月5日、第8回を迎えた中学生「東京駅伝」大会で、男子準優勝、女子5位入賞、総合4位という成績を収めました。

男子については、昨年度の足立区チームが出したタイムを上回る記録を残しました。

来年度もさらなるタイム向上をめざして、頑張っていきます。

重要なお知らせ

① 小学校の学校選択制度が変わります！

平成30年度に新入学するお子様から学校選択制度を「隣接区域制」へ変更します。

なお、中学校の学校選択制度は、従来どおり「自由選択制」となります。

平成29年度
まで

自由選択制

区内全域から学校を選べます。



平成30年度
から

隣接区域制

原則としてお住まいの学区の学校
または隣接する学区の学校から
選べます。

* 隣接区域制の特例や選択可能な学校一覧は区ホームページをご覧ください。*

ホーム

>

トピックス

>

小学校の学校選択制度改正について

② 下校時安全放送の回数を変更します！

地域全体の見守り意識を高めるため、平成29年4月から放送回数を毎週月曜日の週1回から、毎週月曜日と木曜日の週2回に変更します。

なお、従来どおり放送時間は14時とし、放送日が休校日の場合は翌開校日に放送します。

教育委員の主な活動

平成28年

11月 小・中学校周年記念行事出席
第3回総合教育会議出席
教育委員協議会

12月 小学校周年記念行事出席
教育委員協議会

平成29年

1月 成人の日の集い出席
教育委員協議会

2月 教育委員協議会

教育委員会の活動

◆動き

(平成28年11月から平成29年2月)

教育委員会には定例会4回、臨時会2回の開催を通じて17件の議案が付議され、審議の結果すべて可決されました。

《主な議案》

- *平成29年度以降の区立小・中学校における運動会の組体操等について
- *「足立区プロポーザル選定委員会条例」に関する教育委員会の意見について
- *足立区子ども・子育て支援事業計画の改訂について
- *足立区地域学習センター条例施行規則の一部を改正する規則
- *足立区立図書館館則の一部を改正する規則

◆会議の傍聴

会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

ありがとうございました
足立区育英資金寄附金

- 公益社団法人 足立法人会 渡邊 喜一郎 様
- 株式会社シービージャパン 様
- 足立明るい社会づくりの会 様
- 匿名 7名
- 中村 政信 様
- 日本フスイング倶楽部 様
- 足立区民生・児童委員協議会 様

問合せ先

- ◆「東京駅伝」大会
- ◆学校選択制度
- ◆下校時安全放送

教育指導課 教育指導係 ☎ 3880-5974
学務課 就学係 ☎ 3880-5969
教育政策課 教育政策担当 ☎ 3880-5962

◆教育委員会の活動

◆足立区育英資金寄附金

教育政策課 庶務係 ☎ 3880-5961
学務課 助成係 ☎ 3880-5977

第8回あだち子ども百人一首大会

平成29年3月4日開催

小学生の部

大会ポスター最優秀作品
花保小学校
やまぐちかなえ
山口 香苗さん(5年)



《源平戦優勝》
栗原小学校 B チーム

(写真左から)
ふくい ゆうな
福井 友菜さん(4年)
かじはら ゆづき
梶原 佑月さん(2年)
つちだ
土田 さくらさん(4年)

《個人戦優勝》
栗原北小学校
きむら すずか
木村 紗伽さん(6年)



中学生の部

大会ポスター最優秀作品
第十中学校
あらいことこ
新井 琴子さん(2年)

《源平戦優勝》
東綾瀬中学校 B チーム

(写真左から)
かきぬま ゆき
柿沼 優希さん(2年)
たかだ しゅり
高田 朱梨さん(1年)
よこやま いちか
横山 一馨さん(2年)

《個人戦優勝》
第十三中学校
すがはら ことみ
菅原 里実さん(2年)



おめでとう ございます!

第5回 あだち子ども将棋大会

平成29年1月28日開催

《優勝》亀田小学校
(写真左から)
さかもと ゆうた
坂本 悠太さん(4年)
こう ぐいろう
高 古玥さん(4年)
うしだ ゆうざん
牛田 雄山さん(6年)



第9回 あだち環境かるた大会

平成29年1月29日開催

《個人戦低学年の部優勝》
栗原小学校
はやしりく
林 莉駆さん(2年)

《個人戦高学年の部優勝》
花保小学校
たい
田井 さくらさん(5年)

《団体戦低学年の部優勝》
栗っ子3【栗原小学校】
(写真左から)
きたがわはる
北川 陽さん(3年)
としよ まい
歳清 真唯さん(3年)
かとう さら
加藤 紗礼さん(3年)

《団体戦高学年の部優勝》
Shining Star ☆
【千寿第八小学校】
(写真左から)
みやた りお
宮田 梨央さん(6年)
ひなた もえ
日向 萌さん(6年)



問合せ先

◆百人一首大会、将棋大会 青少年課 体験活動推進担当 ☎ 3880-5967
◆環境かるた大会 環境政策課 環境学習係 ☎ 3880-6263

「あだち教育だより」にご意見・ご感想をお寄せください。
足立区教育委員会事務局 教育政策課 ☎ 3880-5962 E-mail: k-seisaku@city.adachi.tokyo.jp

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

足立区
印刷番号 28-313